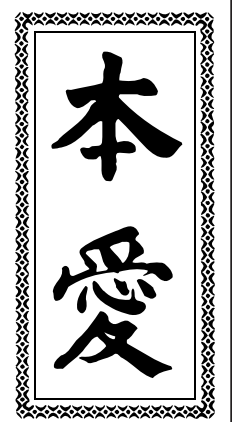


# ご恩報じを胸に「身近な人へ御教えを伝えよう」



発行  
天理教本愛大教会  
〒453-0821  
名古屋市中村区大宮町 1-60  
TEL (052) 461-4326  
MAIL mail@hon-ai.org  
〒632-0071  
奈良県天理市田井庄町 19-1  
TEL (0743) 62-0378  
編集責任 広報部

活動目標  
喜びの旬  
おたすけの日々  
楽しみの道

昨年は中止を余儀なくされた「全教一斉に  
をいげデー」だが、今年は9月28〜30日の  
3日間を「ようぼくの実動日」として実施さ  
れる。

コロナ禍の中、私たちはどのように布教に  
取り組めばよいのか、大教会たすけ推進部  
長・板山眞一氏に話を聞いた。

今回本部からに  
います。

をいげデーを  
施すという、力  
強い打ち出しがな  
されました。

コロナを恐れる  
ばかりではなく、  
世界中の人々がコ  
ロナというふしを  
きっかけに心を切  
り替えてもらえる  
よう、お手伝いを  
させていただけ  
という意図だと思

今年このテーマは「身近な  
人へ御教えを伝えよう」と  
いうことです。今までなら  
不特定多数の人たちへの布  
教活動ということをや  
りていまして、これか  
らは面識のある方々へ教  
えを伝える努力をしてい  
ければなりません。

身近な人に教えが伝わり、  
それがやがて他の方々へも  
伝わっていくけば、不特定多  
数への布教にも繋がって

きます。何もしなければ、何  
も動かず、教えも広がって  
いきません。やりにくい  
からやらないのではなく、今  
できることをやるのが大  
切です。

## ■従来の布教方法も大切

本部の布教部も決して戸  
別訪問を否定されているの  
ではありません。これまで  
の布教方法を変えるとい  
う考え方も必要ですが、一  
方で、従来の布教方法を今  
も継続している方もおられ  
ます。戸別訪問を主体に、勇  
んでにをいげに歩いてお  
られるようぼくもいらつし  
やるので、それはこれから  
も継続していただきたい。

緊急事態宣言等で実施で  
きない月もありましたが、

たすけ推進部としても本愛  
布教実修所を通じて戸別訪  
問だけでなくさまざまなに  
をいげのあり方を検討し、  
またサポートしていきたい  
と考えていますので、教会  
長やようぼくの皆さんも、  
申し込みをしないでなくても  
いつでもご参加ください。

## ■おたすけの日々を歩もう

大きなふしを世界中に見  
せられています。一方で  
親神様は私たちに数々のご  
守護の姿を見せてくださっ  
ています。ご守護の姿が今  
まで以上に目に付く。気付  
かせていただけるとい  
うことさだと思ふんです。

この旬こそ、神様へご恩  
返しをさせていただく大事  
な時期だと思ふます。ご恩  
返しの思いを持って、おた  
すけに励む。そういう歩み  
の中で神様から頂戴するご  
褒美を楽しみにしながら、  
ようぼくとして通らせてい  
ただきましよう。(談)

## 9月のこよみ

入社祭・秋季霊祭

1日 午前10時

よふき会例会

2日 午前10時

女子青年例会

5日 午前9時50分

月次祭

13日 午前10時

青年会例会

13日 午前10時

布教実修所

14日 午前10時

むつみ会例会

16日 午前10時

こども食堂MOGU

17日 午後5時

ほんあいOKEIKO

19日 午前10時

婦人会例会

20日 午前10時

こはる会例会

23日 午前10時

修養科志願者面接

25日 午後1時

本部月次祭

26日 午前9時

(於 本愛話所)

# 9/19 おけいこ ほんあい OKEIKO が新しくなります

少年会本愛団では 9 月 19 日 ( 日 )、大教会で月に 1 度開催されてきた学習支援活動「ほんあい OKEIKO (おけいこ)」を大幅にリニューアルして再スタートします。

従来の各クラスに加えて、「生け花」「泥だんごづくり」「勉強サポート」のクラスが新たに加わりました。ようぼく家庭の子供だけでなく、地域の子供たちも受講対象となります。申し込み不要、参加費は無料です。開講スケジュールは下記の予定表をご覧ください。

## 生け花クラス

講師：相原由実

幼児から中学生までを対象にした、子供向けの生け花体験クラスです。9 月はお月見のお花、10 月はハロウィンのお花など、季節にまつわるお花を実際に生けてみます。持ち物不要です。



## 泥だんごづくりクラス

講師：二井成男

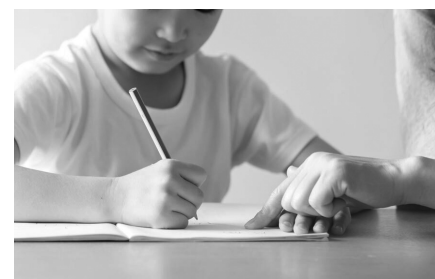
まるで宝石みたいにピカピカに光る泥だんご。左官職人である講師の二井さんは各地で泥だんごづくりの先生としても活動しておられます。持ち物不要。汚れてもいい服装でお越しください。



## 勉強サポートクラス

講師：久保真樹

小中学生を対象に、学習内容の理解度に応じて苦手科目を徹底サポートし、テスト対策・得点力アップを目指します。ドリルや教科書など、必要な教材を持ってご参加ください。



## ダンスクラス 書道クラス



講師：児玉一也、太田千晶  
ダンスと書道の各クラスもこれまで通り開講します。

	9/19	10/24	11/21	12/19
	ダンス	ダンス	ダンス	ダンス
10:00	生け花	生け花	勉強サポート	生け花
11:30	泥だんご (書道)	泥だんご (書道)	(書道)	勉強サポート (書道)

※各クラス先着 10 人までとなっています。  
書道クラスは予定です。

教理随想

言わん言えんの理を探る



教祖はおふで  
さきの中で、

せかいぢうむ  
ねのうちより

このそふぢ

神がほふけや

しかとみでい

よ (三十二)

と仰せになりま

した。これは人

間が心のほこり

を払って、陽気

づくめで暮らすための方法

を掃除にたとえてお教えく

だされたものです。

掃除には、ほうきや雑巾

や掃除機などの道具が必要

です。また掃除だけでなく、

料理や裁縫や工作など、ど

んなものでも一つの仕事を

するには、それにふさわし

い道具が欠かせません。さ

らに言えば、道具が目の前  
にあってもその使い方を知

らないと仕事は進まない。

特に最近はずコンピユーターが

関わっていることが多いの

で、素人では使いこなせな

い道具というのも少なくあ

りません。つまり道具の使

い方を知った上で何度多く

り返してそれを使い、道具

に慣れることが快適な生活

を送るためのコツといえる

のではないのでしょうか。

お道の信仰もこれと似た

ことがいえます。教祖は「神

がほうき」とお示しくださ

いました。そこには意味

が二つあります。一つはお

つとめをつとめることによ

って、親神様が心のほこり

を払ってくださいさという意

味。もう一つは、自分の周

囲に起きてくる出来事から、  
我が心の使い方方を十全の守

護と八つのほこりという教

えに当てはめて考え、そこ

から身上のご守護や事情解

決の道を探っていくことで

あります。

みかぐらうたに、

なんぎするものもこゝろか

ら わがみうらみである

ほかに (十下り目7)

このたびあらはれた や

まひのもとハこゝろから

(十下り目10)

と教えられますので、病氣

やケガや、様々な事情の起

きてくる元が自身の心使い

にあることは間違いないの

ですが、どこをどう改めれ

ばよいのかとなるとこれが

実に難しい。そこで十全の

守護の教えに当てはめてみ

るのです。

■十全の守護を規範に

たとえば呼吸器の患いな

ら、かしこねのみこと(風

II 空気)の働きを十分に

ただけるような心を使っ

ているかどうか。風の働きは

身体機能でいえば呼吸と

言葉ですから、言葉の使

方が、陽気ぐらしを望まれ

る神の思召に沿っているか

という点です。

また消化器の患いならく

もよみのみこと(飲み食

出入り)ですから、家庭内

や自分の周囲の出来事を素

直に受け入れ、それを心で

消化・吸収しようとしてい

るかどうか。骨の障りなら

月よみのみこと(骨つっぱ

り)ですから、自分の主義

主張ばかりを突つ張ってい

ないか、などという反省点

が思い浮かびます。

こうした一つ一つの働き

と心使いの反省に加えて、

「二つ一つが天の理」と教

えられるように、かぐらつ  
とめの方角から見て相対す

る神名の働きも加味して考

え、さらに八つのほこりの

一つ一つに照らし合わせて

我が心の反省を進めていけ

ば、親神様の思召に沿わな

い心使いに必ず気づくはず

です。それをしっかりと反

省し改める心になって、御

礼とお詫びのおつとめをつ

とめるところにご守護をい

ただく道が開けていくので

あります。

十全の守護の八つのほこ

りをただのうたい文句に終

わらせず、我が胸の掃除と

人をたすけるための道具と

してもつと活用する努力が

必要です。そのためには日

頃から火水風の恵みに深く

感謝すると共に、日常の些

細なことから、まず十全の

守護に照らし合わせて考え

る心の訓練をくり返しまし

よう。それが胸の掃除であ

り、本当にたすかる真実の

道であります。

【第 81 回】  
教理を日頃から深く味わい  
人だすけに広く活用しよう

学生会  
高校3年生が親里に

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年8月に開催されている「学生生徒修養会・高校の部」は中止されたが、「高校3年生 Joyous Style」が2泊3日の日程で2回に分けて開催された。

大教会からも3名の学生が、8月11日から13日に開催された第2回に参加した。

教 人 登 録 者

- (令和3年7月31日付)
- 本 知 (本正徳) 水野 理歩
- 本 耕 (本耕愛) 澁谷 昌美
- 本 耀 石井 雅
- 本理愛 門田 讓
- 以上4名

事情おはげび

(令和3年8月26日付)

本心通分教会 (本心部属)

◎神殿建築願

〔鎮座祭〕令和4年5月28日  
〔奉告祭〕令和4年5月29日

お 出 直 し

相原貞子氏 (本徳分教会六代会長)

8月22日に出直された。享年73歳。告別式は8月24日午前10時より、世話人・佐藤正成役員を齋主として執り行われた。

信仰の喜びを実感しよう！

第964期 修養科生大募集

[集合・面接]日時: 9月25日午後1時 / 場所: 本愛詰所

※9月20日までに神殿事務所へお申し込みください。

大 教 会 日 誌

令和3年7月25日～令和3年8月24日

7月

26日 本部月次祭 祭主・大教会長 扨者・大倉八郎、桑子保

31日 常任役員会議◇役員会議 指図方・板山公司 賛者・山本正太郎、松原悟

8月

◇祭典講話—安藤正二郎

1日 入社祭 ◇大教会長挨拶

祭主・大教会長 扨者・大橋進、加藤成幸 青年会例会

指図方・板山公司 賛者・安井篤、久保眞樹 14日 布教実修所

2日 よふき会例会 15日 女子青年例会

おつとめ・十二下りてをどり 16日 むつみ会例会

11～13日 高校3年生 Joyous Style(参加者3名) 17日 こども食堂MOGU (参加者45名)

12日 常任役員会議 19日 こはる会例会

13日 月次祭 20日 婦人会例会